

幌東中学校区 小中一貫した教育ブランドデザイン

幌東中学校 幌東小学校 東橋小学校 上白石小学校

札幌市の「小中一貫した教育」の目的
 「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る



地域の実態・願い
 校区の菊水地区は、歴史ある地域であり、住民の方には同窓生も多く居住している。それだけに、この地域の小中学校に寄せる思いは強く、学校へも協力的である。青少年健全育成にも力を注いでいる。

幌東中学校区・目指す子ども像

一人一人が自他を大切にする子ども

- ・命の大切さを理解して生活できる
- ・自分を大切にし 他者を尊重する
- ・すすんで活動に取り組み自分の未来を切り拓く

子どもの実態

- ◇基礎学力の個人差が比較的大きい。
- ◇明るく素直で、親しみの持てる生徒が多い反面、学校に足が向かない生徒の数が増えてきている現状がある

幌東中学校
 豊かな心を持ち、心身ともに健やかな、意欲ある生徒の育成
 ○知性の高い人間 ○情操豊かな人間 ○意志の強い人間 ○健康で明るい人間

各校・学校教育目標

幌東小学校

- 深く考える子
 ~進んで学び 深く考える子
- 心豊かな子
 ~美しさがわかり 仲よく助け合う子
- からだをきたえる子
 ~心身ともに健康な子
- 最後までやりぬく子
 ~ねばり強く努力する子

東橋小学校

自ら考え行動する
 明るく心豊かな子の育成

- ◇すすんで学習する子
- ◇すすんでよいことをする子
- ◇すすんで体をきたえる子

上白石小学校

進んで考える子
 ~広く考え深く追求する子~
 心の豊かな子
 ~協力し進んで活動できる子~
 健康でたくましい子
 ~強い心と体をきたえる子~

あいさつのできる児童・生徒に育てる

- ・子ども同士であいさつできる
- ・教職員にあいさつできる
- ・学校関係者にあいさつできる
- ・地域のみなさんにあいさつできる
- ・子どものあいさつで地域がよくなる

子ども一人一人の事情に即し連携した働きかけの取組

- ・各種連携事業の取組
- ・児童生徒も先生にも相談できる関係者がいる
- ・中学生が小学校の先生に相談してもよい
- ・家庭に対して小学校と中学校が連携して対応する

児童会・生徒会は共通した取り組みを実施する

- ・4校では共通の体験ができる
- ・かつての経験をもとに、一つ上の活動をめざして挑戦する
- ・中学生から小学生に経験を共有し、伝えることができる
- ・学校の連携のみならず子ども間の連携につながる活動を生み出す
- ・人間尊重の教育に基づいたこどもの人権を大切にする活動

地域ボランティアの協力

教科等の体験授業
 総合的な学習の計画交流
 個別の相談活動

児童会と生徒会の交流
 キャッチフレーズづくり

地域の他団体との連携・交流